

H.29  
(2017年)

## 十月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

煩惱（心身を悩ます欲望）があるから救われる

煩惱とは『自分の思い通りにしたい』との自己中心の欲望で、正しい判断ができない心の働きです。人間には『108の煩惱』があると言われ、その中に①貪欲②瞋恚③愚痴の3毒の煩惱があります。①非常に欲深い心、②激しい怒りの心、③本当の原因が解らない無智（無明）です。『人間の持つ煩惱が自分を苦悩させる』と仏教は説きます。が、生きている限り煩惱は無くなりません。

正信偈に『不斷煩惱得涅槃』=煩惱を消さなくともこの世を極楽浄土にして頂く（現生正定聚）』とあります。親鸞聖人は、煩惱を無くす事はできないと見極め『すぐに腹を立てる・お粗末な私だ』と仏の前で頭を下げ懺悔すると、煩惱を超えると説かれました。病氣すると『死ぬのでは？』と心配するのも煩惱です。自分の力で生きていると思うから苦惱するのです。自然治癒能力で健康が保たれ、他力（仏力）の働きで・生かされていることに目覚める（信心を頂く）と感謝でき・救われます。

### 主な参考資料

- (1) 加藤智見(著)『親鸞の淨土を生きる』、大法輪閣、P.162～205(平成22年)。
- (2) 森田真田(著)『はじめての親鸞さま』、本願寺出版社、P.41～76(2012年)。
- (3) 米沢英雄(著)『親鸞を生きる』、弥生書房、P.7～59(1985年)。